

総合評価

受診施設名	舞鶴双葉寮	施設種別	児童養護施設
評価機関名	社団法人 京都ボランティア協会		

平成21年3月24日

<p>総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴双葉寮は自然豊かな山裾にあり、公共施設などが近いながらも閑静な住宅街の一角に位置し、大変恵まれた養育環境にある。 ・法人・事業所が60年間で蓄積してきた知識・技術・情報を地域に提供・還元するべく、子育て短期支援事業（デイ・ショート・トワイライトの各サービス及び養育相談）と放課後児童健全育成事業（学童クラブ）を地域の要望に答えて同地で行なわれている。 ・入所児の退所時・後の生活の安定のための支援・引継・申し送りの手順は確実にされており、卒寮者が訪問したり生活相談に訪れたり、また卒寮者の同窓会なども開催され、交流も盛んに行なわれている。 ・入所児の自己決定・自主的解決の力量を養い、人格の形成をしていくために発達段階も考慮しながら児童会が組織化され、活発な活動が行われている。双葉寮内での自治活動はもとより、地域との関わりも積極的に行われ社会参加の良い機会となっている。 ・寮長は、親に代わり人間不信に陥り傷ついた入所児の心を癒すのは、温かい「愛情」とその「心」だとの熱い情熱を前面に打ち出し、その思いがリーダーシップの発信メッセージとなっている。また、専門性に基いた養護方針・職員の基本姿勢・具体的な処遇方針が明文化されている。こうした情熱と精神に基づき、「職員は、一番身近な鏡である。」との考えから職員が一体となって家庭的な環境をつくり出し、一人ひとりの個別的な取り組みが児童と職員との「信頼」につながっている実績を、高く評価する。
<p>特に良かった点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後引揚げ孤児のためにこの地に開寮された事業所で、地域との交流と連携は確実に出来ており、入所児・事業所が地域行事などに積極的に参加するとともに、地域住民も事業所の行事に参加されていて「児童養護事業」に対する理解が広がっている様子が読み取れる。 ・双葉寮は「大舎制」であり、日常生活は異年齢の小集団によるホームを中心に営まれ、各ホームは担当職員とともに運営されているが、高校生などから「個室」を望む声もあり、二人での共同生活が出来る制度も実施されている。 ・退寮すると単身での生活となるため、自活・自炊が出来るように「料理教室・家庭科の時間」を多く設け、設備なども工夫されており、家庭的・家族的な生活体験を積み重ねるような個別性を配慮した支援が行われている。 ・日常の買い物は地域でされており、年に数回は京阪神方面に「買い物ツアー」が実施され、入所児の「心の癒し・リフレッシュ」の機会となっている。
<p>特に改善が望まれる点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近年社会福祉に関する政策が激変し、措置入所とはいえ法人施設の経営については重要で、法令・行政情報を早期に入手され、報告・通達されているが、経営に対する分析をし、改善するまでには至っていない。情報を収集し事業計画に反映させて業務改善に努められることを希望する。 ・法人役員の中に会計士がおられ助言を受けていますが、正式に契約を結ぶなど外部監査を受け、経営をされていかれることを希望する。 ・より良い人材を確保することは事業の成長を図る上で重要であり、優秀な職員を常に確保し、職員の質をいかに向上させるか、と云った視点の「人材の確保・養成」が必要である。法人として「正職員・非常勤職員の質」についての指針を明確に示し、職員自身の向上心の方策を両者で話し合いながら研修計画に反映させて目標に立ち向かい、資質の向上に努めていかれることを希望する。それが入所児に対してより良い養育の提供と支援に繋がるものと考え、より具体的な職員に対する教育方針と研修計画を示し実践されては如何なものか。 ・人事考課は、労務管理のほか、キャリア台帳のようなものを作成し、職員の業務上の能力などの把握と向上のための活用や、カウンセリングの内容なども書き添えておくなどの工夫をされることを期待する。 ・情報の共有には寮長・職員全員が一丸となって取り組むべき課題であり、非常勤職員も会議等に参加できるようにし、個人情報保護やプライバシーの課題にも配慮されることを希望する。 ・記録する・文書化することは時代の要請で、素晴らしい生活支援・養護が行なわれていても記録にないものは目に見えるエビデンスにはなり得ない。その記録からサービスの展開について施設全体として、定期的な検証や見直しを検討していくため、記録様式を見直し、記録の仕方の工夫・研修の充実が望まれる。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	舞鶴双葉寮
施設種別	児童養護施設
評価機関名	社団法人 京都ボランティア協会
訪問調査日	平成21年3月24日(火)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	A
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

【自由記述欄】

○ 一人ひとりの「人権」と最大限の自己実現をめざす理念、家庭に代わる愛情と知識、および養護技術による支援の展開など、基本方針や職員の基本姿勢、全体の具体的処遇方針として分かりやすく、具体的に示した書面を全職員に配布して周知され、職員の行動規範となっている。これを職員、入所者の目に触れる場所に掲示し、ホームページにも掲載されることを希望する。

○ 理念は双葉寮が開寮された時より幾度か見直されて現在に至っている。時代の変化により入所理由が大きく変わってきており、今一度見直しをとの機運が出てきている。

○ 理念・運営方針について、入所児に対して「理解できない児もいる」からこそ、理解できるように説明や表示の仕方に工夫をされることを期待する。

○ 中長期計画に新しい寮舎の建設が掲げられていますが、その他の計画と単年度計画には、もう少し具体的な計画を立ておられて、法人・職員・関係者が計画を良く理解し一丸となって計画の実現に向かうことで、入所児に対しての日々の援助・支援に生かすものにされることを希望する。

○ 寮長は、児童養護施設の役割と責任をしっかりと認識され、ほとんどの時間を双葉寮で過ごされており、入所児の様子を体感し職員たちを指導・協働しながら責任者として日々励んでおられる。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	B	B
		③ 外部監査が実施されている。	C	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

○ 近年、社会福祉に関する政策が激変しています。措置入所とはいえ施設の経営については法人として考えて行かねばなりません。法令・行政情報を早期に入手され、報告・通達されていますが、しかし、経営に対する分析をし改善するまでには至っていません。情報を収集し事業計画に反映させて業務改善に努められ、法人役員の中に会計士がおられ助言を受けておられるようですが、正式に契約を結ぶなどして外部監査を受け経営されて行かれることを希望する。

○ 事業は「人なり」と云われますので、より良い人材を確保することは事業の成長を図る最重要課題です。優秀な職員・非常勤職員を常に確保し職員の質をいかに向上させるかと云った視点の「人材の確保・養成」が必要です。事業所としての「職員・非常勤職員の質」についての指針を明確に示し、職員自身の向上心への方策を両者で話し合いながら研修計画に反映し、目標に立ち向かい資質の向上に努めていかれることを希望する。それが入所者児に対してより良い養育の提供と支援に繋がるものと考えますので、より具体的な教育方針と研修計画を示して頂くことを希望する。

○ 職員は有資格者であり養護の重要性、入所児への養護・指導の一貫性のある援助が実践されている。

○ 人事考課は、労務管理のほかキャリア台帳のようなものを作成すれば、職員の業務上の能力などの把握と向上のためにも役立つものです。労務管理として勤務体制・残業・休暇の消化などとともにカウセリングの内容なども書き添えておくなどの工夫をされることを期待する。

○ 職員の教育・研修に対するサポート体制は、出張扱したり勤務の調整をおこなない費用補助の制度が確立されており職員の向上心の刺激に繋がっている。

- 実習生の受け入れをし、社会福祉士・保育士の人材育成に積極的に協力をされている。そして実習生受け入れのための指針・心得・プログラムなどが用意されており実習生を送り出す側に対してと、実習生が接する入所児にも安心感を与えており、またボランティアの受け入れについても実習生の受入と同様にマニュアルが整備されている。
- 緊急時の対応策は確立されています。入所児の安全確保に努め、地域住民の参加も得て防災訓練が実施されており、バディパートナーの取り組みも実践されています。
- 事業所内に設置されている遊具や設備の保守点検マニュアルも用意されている。
- 事業所内の調理室は確実な管理体制と、感染症・食中毒予防及び発生後の対応・二次感染予防の為のマニュアルが用意されており実施されている。
- 事業所内の衛生管理など入所児が積極的に行い、寮長・職員の指導のもとに清掃に努め、衛生管理チェックシート(施設内清掃・臭気・トイレ・浴室・調理室など…)を使い確実に行われている。
- この地域で戦後すぐに開寮された事業所ですから、地域との交流と連携は確実に出来ており、入所児・事業所が地域の行事などに積極的に参加するとともに、地域住民が事業所の行事に参加されている様子が読み取れますが、地域に対して活用可能な社会資源の情報の提供も必要だと考える。
- 地域ニーズの把握から、法人・事業所が60年間で蓄積してきた知識・技術・情報を地域に提供・還元するべく、子育て短期支援事業(デイ・ショート・トワイライトの各サービス及び養育相談)と放課後児童健全育成事業(学童クラブ)を同地で行っている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	C	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

[自由記述欄]

- 入所児には入所時に「子どもの権利ノート」を使って双葉寮での生活や権利・義務などについて確実な情報の提供に努めている。
- プライバシーの保護とは、ただ単に個人情報を守るだけでなく、話の内容が周囲の人に聞かれない様に大きな声で話さない、羞恥心への配慮、私物への関与、カーテンやパーテーションの利用などの配慮であり、入所児の人権を尊重する事がおおむね守られています。作成されたマニュアルなどもあり、今後もより一層努力されることを期待する。
- 入所児の満足度については、児童会「伸びゆく会」が主導で食事・嗜好調査などを入所児自ら行い、双葉寮側に伝える等の活動がなされており、入所児はおおいに満足している様子がうかがえた。相談・苦情については、入所児からの直接の訴えが無くとも、入所児の日々の生活態度・発言などに対して職員は目と耳を傾け、心で受け止めていただければ、きっと沢山の「声」を聞くことが出来るものと信じていますので、より一層の努力をされることを希望します。
- 入所児へのサービス提供では、理念に基づいた養護方針・処遇指針・自立支援計画書が作成されており、マニュアル類も整備されており書式類も整っていますが、「標準的な記録のあり方」について検討されることを希望する。
- 支援マニュアルの点検と整備を行うことにより定義や体系化の再確認ができ、そして職員が共有することにより安定した入所児へのより良いサポートに繋がるものとする。
- 情報の共有は、寮長・職員・非常勤職員が一丸となって取り組むべき課題でもあり、非常勤職員も会議等に参加することにより情報の共有化ができ、入所児一人ひとりの変化への対応や処遇が速やかに実施でき「親に代わる真のあたたかい愛情心」が提供されるものと確信します。個人情報の保護やプライバシーの課題もありますが配慮されることを希望する。
- 行政による措置事業であることから入所児に対する、重要事項説明書・契約書・運営規定などを入所時の説明は馴染まないものなのかもしれませんが、福祉行政も「措置」から「契約」への流れとなってきているかと思しますので、事業所での生活を安心して暮らすためにも、重要事項説明書・契約書・運営規定などを読みやすく理解しやすい書類にして丁寧に説明されることが望まれる。
- 入所児の退所時・後の生活の安定のための支援・引継・申し送りの手順は確実になされており、退所児童が訪問したり生活相談に訪れたり、また退所児童の同窓会なども開催されおり交流も盛んに行なわれている。
- 自立支援計画書が適切に作成されており、入所児の日々の生活の指針として活用され検証・評価・見直しが行なわれ常に入所児の成長に合わせた自立支援計画書への更新がされている。
- 自立支援計画等の記録の仕方については職員によって個人差が大きくなるように、表現方法などの勉強会や研修等も実施されることを期待する。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート

児童養護施設

受診施設名	舞鶴双葉寮
施設種別	児童養護施設
評価機関名	社団法人 京都ボランティア協会
訪問調査日	平成21年3月24日(火)

【付加基準】児童養護施設版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 利用者の尊重	(1)利用者の尊重	① 子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動(施設内の自治会活動等)を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる	A	A
		② 施設の行う援助について事前に説明し、子どもが主体的に選択(自己決定)できるように支援している	A	A
		③ 多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通じて、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるように支援している	A	A
		④ 多くの人たちとのふれあいを通して、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生ができるよう支援している	B	A
		⑤ 子どもの発達に応じて、本人の出生や生い立ち、家族の状況等について、子どもに適切に知らせている	A	A
		⑥ 体罰を行わないよう徹底している	A	A
		⑦ 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わり防止と早期発見に取り組んでいる	B	A
		⑧ 子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障されている	A	A

【自由記述欄】

- 日常の支援は入所児の人格・人権を尊重して遂行されている。
- 入所児は全体の比率として高年齢化しており、虐待・養育放棄や知的・情緒発達障害等複雑な事情をかかえている入所児が多数を占める中で、個別の対応は寮長・職員の協働のもと丁寧に行われている。
- 入所児の自主的解決、自己決定の力量形成を養っていくために発達段階も考慮しながら、児童会「のびゆく会」が組織化されており活発な活動が行なわれている。双葉寮内での自治活動はもとより、地域との関わりも積極的に行なわれ社会参加の良い機会となっている。
- 児童会「のびゆく会」での意見の発表や、苦情・相談などについては、「せんせい・ちょっと」のタイトルで呼びかけ、「言えること・考えていることを話せる・いっしょに考えてみる」などの場があることが分かりやすく提案されている。
- 体罰の禁止、暴力の禁止の徹底と「ことばづかい」や性教育の取り組みなど、その時々々の節目の時期を活用し、互いに相手を尊重する中で周知を図るとともに、自分自身を守る知識や具体的な方法も指導し、愛情の実現をめざす適切な指導・努力が確認できる。
- 宗教については一切関与せず、信教の自由は守られている。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援 サービス	(1)援助の基本	① 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、常に個々の子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている	A	A
		② 子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている	A	A
	(2)食生活	① 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を払っている	A	A
		② 子どもの生活時間にあわせた食事の時間が設定されている	A	A
		③ 発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を適切に行なっている	A	A
	(3)衣生活	① 衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している	A	A
		② 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように援助している	A	A
	(4)住生活	① 居室等施設全体が生活の場として安全性や快適さに配慮したもになっている	A	A
		② 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援 サービス	(5)衛生管理・健康管理・安全管理	① 発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している	A	A
		② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している	A	A
	(6)問題行動に対しての対応	① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に適切に対応している	A	A
		② 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている	A	A
		③ 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している	A	A
	(7)自主性・自律性を重視した日常生活	① 行事などのプログラムは、子どもが参画しやすいように計画・実施されている	A	A
		② 休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している	A	A
		③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している	A	A
		④ 子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している	A	A
	(8)学習支援、進路指導等	① 学習環境の整備を行い学力に応じた学習支援を行なっている	A	A
		② 学校を卒業する子どもの進路について、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう援助している	A	A
		③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる	A	A
		④ 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている	A	A
	(9)メンタルヘルス	① 被虐待児など心理的なケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行なっている	B	B
	(10)家族とのつながり	① 児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりができています	A	A
		② 子どもと家族の関係づくりのために面接、外出、一時帰省などを積極的に行なっている	B	B

[自由記述欄]

- 双葉寮は「大舎制」ではあるが、日常生活は異年齢の小集団によるホームを中心に営まれ、異年齢で構成し生活体験の拡大と人間関係、信頼関係を育んでくれることを希望し、各ホームは担当職員とともに運営されている。高校生などから「個室」を望む声もあり、人権・プライバシーの確保のための工夫として、二人での共同生活が出来る制度も用意されている。
- 退寮すると単身生活となるため、自炊が出来るように「料理教室・調理の時間」を多く設け、設備なども工夫されており、家庭的・家族的な生活体験を積み重ねていけるように個別性を配慮した支援が行なわれている。
- 日常の買い物は地域で行われていますが、年に数回京阪神方面に「買い物ツアー」が実施され入所児の「心の癒し・リフレッシュ」の機会となっている。
- 問題行動には職員間で課題を共有し、速やかに対応する体制を整え児童への理解と共感、更に今後の「生き方」を考えるよう、しっかりと話し合い、「信頼」関係に繋げている。
- 児童会「伸びゆく会」が中心となり、入所児が地域の公園の清掃、冬には独居老人宅の除雪などを率先して行っており挨拶はもちろん会話もあって、地域に馴染んだ生活をしている。
- 医療機関・かかりつけ医との連携・体制が記録等により確認できる。メンタルヘルスについては、児童相談所の心理カウンセラーとの連携で支援されている。
- 進路指導と学力の向上に積極的に取り組み、学習室が数箇所あり職員はもとより入所児が互いに教え合うなど、学力に応じた学習支援がなされ、中学三年生には希望に応じて家庭教師を用意したりされていることが、入所児が学校や社会の中での自信回復に繋がっていくものと思われる。進路に関しては自己決定が可能な限りアルバイトを体験できる。年齢、発達に応じた性教育も実施されており継続していかれること希望する。
- 入所児と保護者との関係においては、児童相談所と協議の上で実施されていますが、今後は強引な引き取りや面会、一時帰宅等への対応について施設としての規定やマニュアルを定められ、さらには親子で宿泊出来る部屋などを用意されることを期待する。
- 児童の生活時間に合わせて基本とする食事時間は設定されていますが、PM6時以降の個別対応もされています。色々な発達段階に応じた食習慣やマナーへの援助、リンゴは丸ごとで出し自分達で皮を剥くなど、また誕生日には部屋の
- 多感な年齢にも配慮し、胸元や腰の出ないものなど或程度の規制はありますが、衣類の購入は、個人の自由にさせておられます。
- 自分達の生活エリアは当番を決め自主的に清掃され、風呂掃除は中学生の男性が担当されています。入所時は緊張していて綺麗に片づけができるが、次第に地が出てきます。ここに慣れてきたことのバロメーターと見て、そこから所持品や居室の整理整頓、掃除の習慣等を指導援助されています。
- 外出後、手洗い、うがいの習慣化及び発達段階に応じた身体管理など、日常の健康管理面の生活習慣を取得するための支援をされています。近くの個人医師は囑託として契約され、また理事の中にも医師がおられ、常時相談可能な体制にあります。
- 子ども達も参加して運動会、文化の集いなどの計画がされています。小学高学年以上は小遣い帳を記入しており、その管理についても、1万円以上の現金を持たないなどの規則が定められていて、将来に向けて貯金するよう支援されています。又町内の子どもの行事やお祭りなどに招待されたり、地域のシニアグループ双葉寮の行事に地域のシニアグループの参加があり交流されています。